

平成18年度「魅力ある大学院教育」イニシアティブ 計画調書

機 関 名		機 関 番 号		整 理 番 号								
機関の代表者(学長)	所在地(都道府県)											
1. 申請分野(系)	a<人社系> ・ b<理工農系> ・ c<医療系> ○を付してください											
2. 教育プログラムの名称												
3. 関連研究分野(分科) (細目・キーワード)	主なものを左から順番に記入(3つ以内)											
	主なものを左から順番に記入(5つ以内) ()											
4. 研究科・専攻名 及び研究科長名 ([]書きで課程区分を記入、 複数の専攻で申請する場合は、 全ての研究科・専攻を記入)	(主たる研究科・専攻名)				研究科長(取組代表者)の氏名							
	(その他関連する研究科・専攻名)											
5. 取組実施担当者 (当該教育プログラムの責任者(専攻長等)を記入してください。複数の専攻で申請する場合は、他の専攻長等を含め、計3名以内で記入してください。)												
ふりがな 氏 名(年齢)	所属研究科・専攻・職名	現在の専門	学 位	役割分担								
				責任者								
6. 教員組織の構成 (複数の専攻で申請する場合は、研究科・専攻名には主たる研究科・専攻のみ記入してください。なお、主たる研究科・専攻を含む申請する全ての研究科・専攻について、4頁目に詳細を記入してください。)												
研究科・専攻名	課程区分	教授(名)		助教授(名)		講師(名)		助手(名)		合計(名)		
		専任	兼任	専任	兼任	専任	兼任	専任	兼任	専任	兼任	
	専任教員のうち他大学等を経験したことのある者		—		—		—		—		—	
7. 専攻の入学定員等(複数の専攻で申請する場合は、研究科・専攻名には主たる研究科・専攻のみ記入してください。なお、主たる研究科・専攻を含む申請する全ての研究科・専攻について、4頁目に詳細を記入してください。)												
研究科・専攻名	課程区分	修業 年限 (年)	入学 定員 (人)	収容 定員 (人)	定員 充足 率(%)	学 位	開設 年度 (西暦)	備 考				
								(基礎となる学部等)				
8. 申請経費 (単位:千円) 千円未満は切り捨てる	年 度	平成18年度			平成19年度			合 計				
	取組規模											
	内 訳	補助金申請額										
		大学負担額										

<採択された場合には公表>

機関名		機関番号		取組実施担当者(責任者)	
<p>9. 本事業の全体像(わかりやすく、具体的に記入してください。)</p> <p>9-(1) 本事業の大学全体としての位置付け(教育研究活動の充実を図るための支援・措置について)</p>					
<p>9-(2) これまでの教育研究活動の状況(これまでの改善点と、今後の課題について)</p>					
<p>9-(3) 魅力ある大学院教育への取組・計画(9-(2)を踏まえた大学院教育の実質化(教育の課程の組織的展開の強化)のための具体的な教育取組、及び意欲的・独創的な教育プログラムへの発展的展開のための計画、及びこの取組によって改善が期待される点について)</p>					

<採択された場合には公表>

機関名		機関番号		取組実施担当者(責任者)	
<p>10. 履修プロセスの概念図(履修指導及び研究指導のプロセスについて全体像と特徴がわかるように図示してください。)</p>					

機関名	機関番号	取組実施担当者(責任者)									
(※複数の専攻で申請する場合は、1頁目に記載した「6. 教員組織の構成」及び「7. 専攻の入学定員等」の詳細を下記に記入してください。)											
(6. 詳細)教員組織の構成 (主たる研究科・専攻を含む申請する全ての研究科・専攻を記入してください。)											
研究科・専攻名	課程区分	教授(名)		助教授(名)		講師(名)		助手(名)		合計(名)	
		専任	兼任	専任	兼任	専任	兼任	専任	兼任	専任	兼任
専任教員のうち他大学等を経験したことのある者			—		—		—		—		—
専任教員のうち他大学等を経験したことのある者			—		—		—		—		—
専任教員のうち他大学等を経験したことのある者			—		—		—		—		—
専任教員のうち他大学等を経験したことのある者			—		—		—		—		—
専任教員のうち他大学等を経験したことのある者			—		—		—		—		—
(7. 詳細)専攻の入学定員等 (主たる研究科・専攻を含む申請する全ての研究科・専攻を記入してください。)											
研究科・専攻名	課程区分	修業 年限 (年)	入学 定員 (人)	収容 定員 (人)	定員 充足 率(%)	学 位	開設 年度 (西暦)	備 考			
								(基礎となる学部等)			

機関名		機関番号		取組実施担当者(責任者)	
11-(2) 体系的な教育課程の編成(下記の点について〔 〕内を考慮して、具体的に記入してください。)					
1)人材養成目的を踏まえた専攻分野に関する高度な専門的知識・能力の修得に加え、幅広く高度な知識・能力を身に付けさせるための体系的な教育課程の編成について					
<ul style="list-style-type: none"> ・研究活動を行うに足る研究能力の修得とその基礎となる豊かな知的学識を培う教育課程となっているか。 ・多様な研究活動の場を通じて研鑽を積むことが可能な教育課程となっているか。 ・自ら研究課題を設定し研究活動を実施するなど、学生の創造力、自立力等を磨く教育課程となっているか。 ・学生に一定の責任と権限を与え、プロジェクトの運営管理能力を高めることが可能な教育課程となっているか。 ・学部教育と大学院教育との接続を考慮した教育課程となっているか。 ・企業や社会、他の大学院等との連携を考慮した教育課程となっているか。 					
2)コースワーク、論文作成指導、学位審査等の各段階が有機的なつながりをもって学位授与へと導くといった教育のプロセス管理について					
1)					
2)					

機関名		機関番号		取組実施担当者(責任者)	
11-(3)-① 教員組織の整備(下記の点について具体的に記入してください。)					
1)専攻の種類及び規模、教育課程に応じた教育研究上必要な教員(研究指導教員及び研究指導補助教員を含む)の配置について					
2)教員組織の活動をより活性化するための措置について(例えば、若手教員や女性研究者の活躍促進のための支援、任期制や公募制、外国人教員の確保、教育評価の人事処遇への反映方法など)					
1)					
2)					
任期制、公募制の導入状況(教員組織の活動を活性化するための適切な措置の例として挙げられている「任期制・公募制の導入状況」について、該当する欄に○を付してください。)					
任期制		導入している		一部導入している	導入していない
公募制		導入している		一部導入している	導入していない
11-(3)-② 組織的な研究・研修(FD)の実施体制等の整備(下記の点について[]内を考慮して、具体的に記入してください。)					
1)FDの組織的な実施体制の整備について					
2)FDの実施内容・方法及び教育の質の向上や授業改善のためのシステムの整備について (・学生による授業等の評価結果が活用・反映されているか。)					
1)					
2)					

機関名	機関番号	取組実施担当者(責任者)
11-(4)-① 教育研究指導の体制・方法の確立(下記の点について〔 〕内を考慮して、具体的に記入してください。)		
1)各種授業に応じた授業形態・教育方法等の整備について 〔 ・履修指導、シラバスの作成・活用、講義・実習・実験等の授業形態の組合せ、少人数教育・フィールド型授業、情報機器の活用などの教育内容に応じた教育方法の工夫などがなされているか。 ・国際的に通用する外国語能力を養うための措置が講じられているか。 〕		
2)成績評価や単位認定、修了認定などの統一的な基準の策定と厳格な運用について (・到達目標に照らして、学生の教育の達成度を適切に把握・評価する仕組みが講じられているか。)		
1)		
2)		
11-(4)-② 研究指導の適切な取組(下記の点について〔 〕内を考慮して、具体的に記入してください。)		
1)研究指導に対する適切な取組について 〔 ・学生の個性を発掘し、それを伸ばすための取組や工夫が講じられているか。 ・複数教員による指導體制、研究テーマの決定に対する適切な指導、TA・RAの活動を通じた能力の育成、教育的機能の訓練などの工夫が講じられているか。 〕		
2)学位授与のプロセス管理について (・学位論文に係る指導體制、学位論文の審査体制、方法・基準の明確化などの工夫が講じられているか。)		
1)		
2)		

機関名		機関番号		取組実施担当者(責任者)	
<p>(11-(5)~(7)の各項目に示された点について具体的に記入してください。)</p> <p>11-(5) 教育研究活動の活性化 1) 教員・学生の流動性向上に関する方策、学生間の競争的環境の醸成に関する方策について 2) 若手教員・学生の研究スペースの確保や、学生の学習支援環境(自習室、グループ討論室、情報機器など)の整備について</p> <p>11-(6) 運営マネジメント(プロセス管理)体制の構築 1) 修了者の社会的評価の把握、質の保証を検証する仕組みなど、教育研究活動の状況を組織的に把握・改善する仕組みの整備について 2) 教育研究活動の明確な意志決定方法の構築について</p> <p>11-(7)-① 学生の経済的支援とキャリアパス形成に関する方策 1) 学生への経済的支援について(TA・RAへの採用、フェローシップ、奨学金給付・貸与、授業料免除など) 2) 学生のキャリアパス形成に関する教員の指導、学生の進路指導について(就職、アップグレードのためのサポートなど)</p> <p>11-(7)-② 自己点検・評価体制の構築 1) 自己点検・評価を行う組織体制(外部者によって検証する体制も含む)の整備について 2) 専門分野の特性を踏まえた自己点検・評価項目・方法等の設定について</p> <p>11-(7)-③ 積極的な情報提供 積極的な情報提供(目的、魅力ある教育内容・方法、自己点検・評価結果など)を行うための体制の整備について</p>					
11-(5)					
11-(6)					
11-(7)-①					
11-(7)-②					
11-(7)-③					

機関名	機関番号	取組実施担当者(責任者)
<p>12. 意欲的・独創的な教育プログラムへの発展的展開のための計画 (前記11に記載された大学院教育の実質化のための教育取組を基盤とした、現代社会の新たなニーズに応えられる、意欲的かつ独創的な教育プログラムへの発展的展開のための計画について)</p>		
<p>12-(1) 教育プログラムの特色 (各大学の特性を踏まえた点、独創的な点等で強調すべき点について具体的に記入してください。)</p>		
<p>12-(2) 教育プログラムにより養成される人材像 (創造性豊かな若手研究者の養成について(この教育プログラムにより養成される人材像を具体的に記入してください。))</p>		
<p>12-(3)-① 教育プログラムの実現性(下記の点について具体的に記入してください。)</p> <p>1)計画の実現に向けた実施体制、人的・物的な教育環境をどのように整備し、教育プログラムを推進するために効果的な実施体制としようとしているのか。</p> <p>2)教育プログラムの年次計画の実現性をどのように高めようとしているのか。</p>		

機関名		機関番号		取組実施担当者(責任者)
13-(1) 特記事項(下記の点について該当する場合は記入してください。なお、ない場合は「なし」と記入してください。)				
1)当該教育プログラムを申請する専攻において他の経費措置で既に実施されている関連性の高い事業(例:21世紀COEプログラムなど)による人材養成と類似性がある場合には、その相違について具体的に記入してください。 2)前回申請した教育プログラムをベースとしている場合は、どのような点について改善・充実等が図られているのか具体的に記入してください。				
1) 2)				
13-(2) 組織としての外部資金の獲得状況(申請する専攻に所属する教員が平成16年度に交付を受けた研究代表者等としての研究費(①研究拠点形成費等補助金(21世紀COEプログラム)、②科学研究費補助金、③その他の研究助成(国、独立行政法人、民間企業等の研究費(共同研究含む、寄付金除く))の別に、件数、金額(千円:16年度交付額の総計)(複数専攻の場合はその合計)を記入してください。備考には、専攻に所属するすべての教員(常勤)の合計人数(複数専攻の場合はその合計)を記入してください。)				
名 称	件 数	金額(千円) (16年度交付額の総計)	備 考	
① ② ③			教員数 名(平成16年4月1日現在)	

機関名		機関番号		取組実施担当者 (責任者)	
-----	--	------	--	------------------	--

14. 初年度及び次年度の各経費の明細

申請できる経費は、当該教育プログラムの遂行に必要な経費です。「魅力ある大学院教育」イニシアティブの目的である創造性豊かな若手研究者養成の実現のため、用途は限定されます。(平成18年度「魅力ある大学院教育」イニシアティブ公募要領《研究拠点形成費等補助金(若手研究者養成費)》参照)

記載例 : 教材印刷費 ○○○千円
○○部×@○○○円
: インターンシップ旅費 ○○○千円
旅費 ○○人×@○○○円
滞在費(○日) ○人×○日×@○○○円

<平成18年度計画>		経費区分	金額(千円)	備考
		[設備備品費]		
		.		
		.		
		.		
		.		
		[旅費]		
		.		
		.		
		.		
		[人件費]		
		.		
		.		
		.		
		[事業推進費等]		
		.		
		.		
		.		
		.		
平成18年度	合計	取組規模		
	内訳	補助金申請額		
		大学負担額		

<平成19年度計画>		経費区分	金額(千円)	備考
		[設備備品費]		
		.		
		.		
		.		
		[旅費]		
		.		
		.		
		[人件費]		
		.		
		.		
		[事業推進費等]		
		.		
		.		
		.		
平成19年度	合計	取組規模		
	内訳	補助金申請額		
		大学負担額		

機関名		機関番号		取組実施担当者 (責任者)	
研究科・専攻名					

※ 研究科全体や複数の専攻で同一の教育プログラムを実施する場合(複数の専攻で申請する場合)においては、以下の様式(15. 大学院学生の動向等、16. 履修モデル及び担当教員)を専攻毎に作成してください。

15. 大学院学生の動向等

15-(1) 大学院学生の在籍及び学位授与状況

【修士課程、博士前期課程】

区 分	平成15年度	平成16年度	平成17年度
入学定員(各年度4.1現在)	0 人	0 人	0 人
入学者数 (各年度11.1現在)	人	人	人
うち、他大学出身者数 (各年度11.1現在)	人	人	人
定員充足率	0 %	0 %	0 %
在籍者数 (各年度11.1現在)	0 人	0 人	0 人
留年、退学、休学者数 ※1 (全ての学年、各年度内の該当人数)	人	人	人
留年、退学、休学者率	0 %	0 %	0 %
学位(修士)授与数(各年度3.31現在)	人	人	人
学位授与率 ※2	%	%	%

【博士後期課程、博士課程(一貫制)】

区 分	平成15年度	平成16年度	平成17年度
入学定員(各年度4.1現在)	0 人	0 人	0 人
入学者数 (各年度11.1現在)	人	人	人
うち、他大学出身者数 (各年度11.1現在)	人	人	人
定員充足率	0 %	0 %	0 %
在籍者数 (各年度11.1現在)	0 人	0 人	0 人
留年、退学、休学者数 ※1 (全ての学年、各年度内の該当人数)	人	人	人
留年、退学、休学者率	0 %	0 %	0 %
学位(博士)授与数(各年度3.31現在)	人	人	人
☆うち、いわゆる「満期退学」者や「単位取得後退学」者による博士号取得を課程博士として取扱っている場合にはその数(各年度3.31現在)	人	人	人
学位授与率 ※2	%	%	%
論文博士授与数(各年度3.31現在)	人	人	人

※1 休学者数については、当該年度内(1年間)休学している者の数を留年、退学者数とあわせ記入してください。

※2 学位授与率については、修士課程の場合においては当該年度の学位授与数を2年前の入学者数で割った数値、博士課程の場合においては当該年度の課程博士授与数を3年前(医・歯・獣医学は4年前、5年一貫制の場合は5年前)の入学者数で割った数値としてください。

機関名	0	機関番号	0	取組実施担当者 (責任者)	0
研究科・専攻名	0				

15-(2) 大学院学生への経済的支援

【修士課程、博士前期課程】

区 分	平成15年度	平成16年度	平成17年度
在籍者数 (各年度11.1現在)	0 人	0 人	0 人
TAとして採用されている者	人	人	人
在籍者数に対する割合	0 %	0 %	0 %
RAとして採用されている者	人	人	人
在籍者数に対する割合	0 %	0 %	0 %
各種奨学金を受給している者	人	人	人
在籍者数に対する割合	0 %	0 %	0 %
うち、大学独自の奨学金制度の適用を受けている者の数	人	人	人
在籍者数に対する割合	0 %	0 %	0 %
授業料免除適用者数	人	人	人
在籍者数に対する割合	0 %	0 %	0 %

【博士後期課程、博士課程(一貫制)】

区 分	平成15年度	平成16年度	平成17年度
在籍者数 (各年度11.1現在)	0 人	0 人	0 人
TAとして採用されている者	人	人	人
在籍者数に対する割合	0 %	0 %	0 %
RAとして採用されている者	人	人	人
在籍者数に対する割合	0 %	0 %	0 %
学振特別研究員DCとして採用されている者	人	人	人
在籍者数に対する割合	0 %	0 %	0 %
各種奨学金を受給している者	人	人	人
在籍者数に対する割合	0 %	0 %	0 %
うち、大学独自の奨学金制度の適用を受けている者の数	人	人	人
在籍者数に対する割合	0 %	0 %	0 %
授業料免除適用者数	人	人	人
在籍者数に対する割合	0 %	0 %	0 %

機関名	0	機関番号	0	取組実施担当者 (責任者)	0
研究科・専攻名	0				

15-(3) 大学院学生の学会発表、論文発表数

区 分	平成14年度	平成15年度	平成16年度	
学会発表数	回	回	回	
論文発表数 (学生が学術雑誌等(紀要、論文集等も含む)に発表したもの(印刷済及び採録決定済のものに限り査読中・投稿中のものは除く。))	件	件	件	

※主な発表論文

(平成14年度～平成16年度の期間に、専攻に所属する学生の主な発表論文(論文名、著書名、著者名、学会誌名、巻(号)、最初と最後の頁、発表年(西暦)の各項目を必ず記入)を記入してください。共同、共著の場合は全員を掲載順に記入し、当該学生に下線を付してください。ただし、印刷済及び採録決定済のものに限り査読中・投稿中のものは除きます。)

機関名	0	機関番号	0	取組実施担当者 (責任者)	0
研究科・専攻名	0				

15-(4) 大学院学生の就職・進学状況

【修士課程、博士前期課程】

区分	卒業年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	備考
修了者数		0 人	0 人	0 人	
大学の教員(助手・講師等)		人	人	人	
修了者数に対する割合		0 %	0 %	0 %	
公的な研究機関		人	人	人	
修了者数に対する割合		0 %	0 %	0 %	
企業(研究開発部門)		人	人	人	
修了者数に対する割合		0 %	0 %	0 %	
企業(その他の職種)		人	人	人	
修了者数に対する割合		0 %	0 %	0 %	
学校(大学を除く)の教員		人	人	人	
修了者数に対する割合		0 %	0 %	0 %	
進学(博士課程、留学等)		人	人	人	
修了者数に対する割合		0 %	0 %	0 %	
その他		人	人	人	
修了者数に対する割合		0 %	0 %	0 %	

【博士後期課程、博士課程(一貫制)】

区分	卒業年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	備考
修了者数		0 人	0 人	0 人	
大学の教員(助手・講師等)		人	人	人	
修了者数に対する割合		0 %	0 %	0 %	
公的な研究機関		人	人	人	
修了者数に対する割合		0 %	0 %	0 %	
企業(研究開発部門)		人	人	人	
修了者数に対する割合		0 %	0 %	0 %	
企業(その他の職種)		人	人	人	
修了者数に対する割合		0 %	0 %	0 %	
ポスドク(同一大学)		人	人	人	
修了者数に対する割合		0 %	0 %	0 %	
ポスドク(他大学等)		人	人	人	
修了者数に対する割合		0 %	0 %	0 %	
進学(留学等)		人	人	人	
修了者数に対する割合		0 %	0 %	0 %	
その他		人	人	人	
修了者数に対する割合		0 %	0 %	0 %	

※主要な就職・進学先等

(就職先)

(進学先)

機関名	0	機関番号	0	取組実施担当者 (責任者)	0
研究科・専攻名	0				

16. 履修モデル及び担当教員

16-(1) 課程の目的に即した人材を養成するための履修モデル

(「11-(1)目的・役割の焦点化・明確化」に記入した養成する具体的な人材像に対応させ、修了要件単位数により作成してください。)

年次	科目区分	単位数		授業科目	備考
		必修	選択		
1					
2					
3					
4					
5					

※履修方法及び修了要件

機関名	0	機関番号	0	取組実施担当者 (責任者)	0
研究科・専攻名	0				

16-(2) 担当教員・開講科目一覧

(16-(1)履修モデルに記入した授業科目を担当する教員毎に作成してください。)

専任 兼任	職名	ふりがな 氏名 (代表的な研究活動)	年次	単位数		授業科目	主な発表論文 <small>(既に発表した代表的な論文2件(印刷済及び採録決定済のものに限り、査読中・投稿中のものは除く、最近(原則5年以内に)発表したもの)について、論文名・著書名・著者名・学会誌名・巻(号)・最初と最後の頁・発表年(西暦)を記入)</small>
				必修	選択		
		(代表的な研究活動)					

